

COVID-19 CHP は 5 名の新增患者を調査

香港政府一站通 sc.isd.gov.hk 2020-03-10 23:19

衛生署衛生防護センター（宮本注：以下『CHP』）は、本日 3 月 10 日夜 8 時時点で、CHP は新たに新型コロナウイルス確診患者 5 名が増え、香港での患者累計は 121 例（確診患者 120 例と疑似症例 1 例）となっていると発表した。

本日確診された患者中の 2 例は、香港の家で接触をしていた先にカナダで確診されている患者 1 例と関係がある。当該カナダで確診された患者は香港第 105 例目、107 例目、111 例目及び 115 例目の患者たちと同じインド・ツアーの客だった。

最初の患者は、52 歳の女性（第 117 例の患者となる）で、カナダで確診された患者の娘だ。患者の過去の健康状態は良好であり、南区ビクトリアロード 550 号下碧瑤灣 28 座に居住していた。今一人の患者は、48 歳女性（第 118 例）であり、第 117 例と同居している家政婦だが、彼女には長期疾患があった。昨 3 月 9 日、二人の検疫手配中に彼らが発熱していることが発見され、直ちにクイーン・メアリー病院に搬送され治療を受けている。家政婦は、3 月 4 日に端を伴う咳と鼻水が始まったと告げている。本日、両人の気道サンプルから COVID-19 ウィルス陽性反応が得られたが、現時点では安定した状態にある。二人とも最近海外渡航はしていなかった。

その他 3 名は、2 月 27 日から 3 月 7 日にかけて、香港からエジプトを訪れていたツアーグループと関係がある。1 名の患者は、59 歳男性（第 119 例）で、食物環境衛生署のスタッフをしている。患者の過去の健康状態は良好であり、大埔の富亨邨（フーヘンエステート）にある亨泰樓（ヘンタイハウス）に居住している。彼には 3 月 7 日に咳が、3 月 8 日には発熱が現れ、アリス・ホー・ミウ・リン・ナダソール病院（AHNH : Alice Ho Miu Ling Nethersole Hospital）救急外来を受診し、3 月 9 日には、プライベート・クリニックも受診した。喉奥の唾液サンプルから COVID-19 の陽性反応が得られたため、AHNH 病院に入院し治療を受けているが状況は安定している。彼の妻もツアーに同行しており、症状が現れたために AHNH に入院し治療を受けている。その息子には症状がないが、現在検疫中だ。

他の患者 2 名は、屯門区兆禧苑の安禧閣に住む夫婦だ。59 歳の男性患者（第 120 例）には長期疾患があり、3 月 7 日に鼻水が現れ、3 月 8 日には発熱が現れた。59 歳の女性患者（第 121 例）はこれまでの健康状態は良好だったが、3 月 7 日に発熱が現れた。二人は 3 月 9 日に屯門病院（TMH）を受診、彼らの喉奥の唾液サンプルから本日 COVID-19 の陽性反応が得られた。現在、屯門病院で治療中だが病状は安定している。

患者 3 名は同じツアーグループに参加しており、3 月 6 日にトルコ航空 TK695 便（エコノミークラス）にのってエジプトからトルコのイスタンブールに入り、イスタンブールからトルコ航空 TK70 便（エコノミークラス）に乗って 3 月 7 日に香港に戻っている。この二便に搭乗していた旅客にあっては、CHP のホットラインに電話をしていただきたい。

CHP は疫学的調査及び接触者の追跡を継続している。CHP は濃厚接触者の検疫を進め、その他の接触者には医学観察を展開している。接触者探しの進展については、添付を参考されたい。

この他に、CHP は、香港以外で確診された患者 2 名の接触者を追跡している。一人目は、広東省東莞市で確診された 19 歳の女性患者で、彼女はスペインのマドリッドからキャセイ航空 CX320 便（エコノミークラス）で 3 月 8 日に香港に戻ってきた。

二人目は、クルーズ船『ダイヤモンドプリンセス号』に乗船して日本で確診されていた 31 歳女性客である。彼女は日本で治癒退院後 3 月 7 日に全日空 NH811 便（エコノミークラス）で東京から香港に戻ってきている。彼女には症状はないが、3 月 9 日に持病の診察のためにクイーン・メアリー病院を受診した際に気道サンプルから COVID-19 の陽性反応が得られた。

上述 2 便に搭乗していた人々におかれては、CHP のホットラインに電話をされたい。

CHP スポークスマンは：「CHP は、全世界各地に COVID-19 が急速に蔓延していると市民に注意を喚起しているが、市民にあっては、不必要な渡航計画を全て延期することを検討されたいとアドバイスする」としている。

「このほかに、CHP の疫学的調査により、香港コミュニティ中にクラスターが発生しており、多くの人による食事会及びギャザリングがあったことが判明している。CHP としては、外出及び食事会や集会などの社交活動を避けるべきであり、他人との適切な距離をとらねばならないとアドバイスしたい。」

スポークスマン：「CHP は、常に個人と環境の衛生を保つことが、個人の感染を予防し、ウィルスがコ

コミュニティで拡散しないようにするためのキーとなると強く市民に呼び掛けるものである。個人レベルでは、気道感染症の症状が現れた場合や交通機関を利用する際、或いは人が密集する場所に行く場合にはサージカルマスクを着用し、口や鼻或いは目を触る前には常に両手の清潔を保つことが必要である。」

「家庭の環境衛生に関して、市民には排水管をメンテナンスし、定期的に U 字管の排水口にきれいな水を注入することが必要である；使用しない時は、床排水溝全てを覆う必要がある；また、トイレ使用時は衛生に注意し、水をフラッシュする前に便座カバーを閉めて細菌の拡散を防がねばならない。」

CHP は、患者については WHO や国家衛生健康委員会、広東省衛生健康委員会及び医院管理局に通報している。

CHP は、既に午前 8 時から午後 12 時まで利用可能なホットライン (2125 1122) を設置している。本日午後 4 時までの時点で、ホットラインには 30947 件の問い合わせが入っている。

更に、香港政府は市民の最新情報確認のために、既に「COVID-19 専用サイト (www.coronavirus.gov.hk)」において、COVID-19 関連の各種最新情報及び健康アドバイスを発表している。

肺炎及び気道感染症予防のため、市民には以下のものを含め、常に良好な個人及び環境の衛生を保持せねばならない：

- 交通機関の利用或いは人の集まる場所に留まる場合、サージカルマスクを着用せねばならない。マスクは、マスク着用の前後には手の衛生を保つことも含めて正しく着用することが重要である；
- 両手の清潔を常に保たねばならない。特に口や鼻或いは目に触れる前；手すりやドアノブなどの公共設備に触れた後；或いはくしゃみや咳をした後などに気道分泌物で手が汚染した時；
- 排水管の適切なメンテナンスと（毎週約一回）の定期的な 500cc の U 字溝へのきれいな水の注入で環境衛生を確保すること；
- 使用しないときは、全ての床排水溝を覆うこと；
- トイレ使用后、便座カバーをしてから水を流すことで、病原菌の拡散を防ぐように注意すること；
- 液体石鹸と清水で両手を洗う際は、20 秒以上手をこすり合わせて水ですすぎ、使い捨てのペーパータオルを使うこと。もし手洗い設備がない、或いは両手が明らかに汚れていない場合には、70%～80%の濃度のアルコールを使い両手を揉むこともまた効果的な代替策となる；
- くしゃみや咳をする際にはティッシュで口鼻を多い、使用したティッシュは蓋つきのゴミ箱に入れて両手を徹底的に洗うこと；及び
- 気道感染症の症状が出た場合、サージカルマスクを着用の上、通勤通学をせず、ヒトの多い場所に行くことをせず、すぐに病院を受診すること。

CHP は、香港市民には不要な渡航計画を延期するようにアドバイスする。もしどうしても渡航をせねばならない場合には、下記の予防措置を採るように注意せねばならない：

- COVID-19 が広くコミュニティに伝播している湖北省には行かない；
- 韓国（患者の大半が報告されている大邱や慶尚北道は特に）やイタリア、イラン、フランスのブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏やグラン・テスト地域圏、ドイツのノルトライン＝ヴェストファーレン州、日本の北海道、そしてスペインのラ・リオハ州やマドリッド州、バスク州などへの不必要な渡航を避けること；
- COVID-19 が活発にコミュニティで伝播した国家や地区に行く場合は、発熱者や気道感染症の症状がある人との濃厚接触を避ける。もしどうしても彼らとの接触を避けられない場合、サージカルマスクを着用し、香港に戻ってから 14 日間はマスクを着用し続けること；
- 病院に行くことはしない。どうしても行く必要がある場合、サージカルマスクを着用し片時も個人と手指の衛生に注意を怠らないこと；
- （ジビエを含む）動物や鳥獣、或いはその糞便への接触をしないこと；
- ウェットマーケットや活禽市場、或いは農場には行かないこと；
- 患者、特に急性の気道感染症症状を持つ患者との近距離接触は避けること、
- ジビエ料理を食べない、ジビエ料理提供店には行かないこと；
- 食物の安全や衛生に注意を払い、乳類、タマゴ類、肉類を含め、生や生煮えの料理を食べないこと、或いは、完全に煮炊き、洗浄、皮を剥いていない限り、動物の分泌物や（尿などの）排泄物や汚染された食物を食べぬこと；
- 香港外の地で、もし体調が優れない、特に発熱や咳の症状がある場合には、サージカルマスクを着

用し直ちにホテル従業員或いはツアーガイドにそれを告げ、同時に急いで病院を受診すること； 及び

- 外地から香港に戻った後に発熱やその他の症状が現れた場合には速やかに病院を受診し、最近訪れた場所と動物との接触の有無について主体的に医師に告げるとともにサージカルマスクを着用して他人への感染を防ぐこと。

<https://sc.isd.gov.hk/TuniS/www.info.gov.hk/gia/general/202003/10/P2020031000783.htm>

CHP investigates five additional cases of COVID-19

GovHK sc.isd.gov.hk 2020-03-10 23:19 Source: CHP

The Centre for Health Protection (CHP) of the Department of Health (DH) announced that as of 8pm today (March 10), the CHP is investigating five additional confirmed cases of COVID-19, taking the number of cases to 121 in Hong Kong so far (comprising 120 confirmed cases and one probable case).

Two of the confirmed cases today are associated with a confirmed case in Canada earlier, being the case's household contacts in Hong Kong. The confirmed case in Canada was a member of the same tour group to India as the five patients of the 105th, 107th, 110th, 111th and 115th cases in Hong Kong.

The first case involves a 52-year-old woman (the 117th case) who is the daughter of the confirmed case in Canada. She has good past health and lives in Block 28, Lower Baguio Villa, 550 Victoria Road, Southern District. The other case involves a 48-year-old woman (the 118th case) who is the domestic helper of the 117th case who live together. The 48-year-old female patient has underlying illness. When arranging quarantine for the two patients yesterday (March 9), they were found to have fever and immediately sent to Queen Mary Hospital for treatment. The domestic helper reported to have developed cough with sputum and runny nose since March 4. Their respiratory samples were tested positive for COVID-19 virus today and they are now in stable condition. Both patients had no recent travel history.

The remaining three cases are related to members of a group tour from Hong Kong to Egypt from February 27 to March 7. One of the patients is a 59-year-old man (the 119th case) who is a staff member of the Food and Environmental Hygiene Department. The patient has good past health and lives in Heng Tai House, Fu Heng Estate in Tai Po. He developed cough on March 7, then fever on March 8 and sought treatment at Alice Ho Miu Ling Nethersole Hospital (AHNH). He also consulted a private doctor on March 9. His deep throat saliva specimen was tested positive for COVID-19 virus today. He was hospitalised for treatment at AHNH and is in stable condition. His wife who also joined the tour has developed symptoms and was admitted to AHNH for treatment while his son is asymptomatic and will be arranged for quarantine.

The other two patients are a couple who live in On Hei House in Siu Hei Court, Tuen Mun. The 59-year-old man (the 120th case) with underlying illness developed runny nose since March 7 and fever since March 8 while his 59-year-old wife (the 121st case) with good past health developed fever since March 7. They sought treatment at Tuen Mun Hospital (TMH) on March 9. Their deep throat saliva specimens were tested positive for COVID-19 today. They are under treatment at TMH and are in a stable condition.

The three patients from the same group tour took the flight TK695 (economy class cabin) by Turkish Airlines from Cairo in Egypt to Istanbul in Turkey on March 6 and then departed Istanbul on flight TK70 (economy class cabin) by Turkish Airlines arriving Hong Kong on March 7. Passengers who travelled in the same cabin on board the flights are urged to call the CHP hotline.

The CHP's epidemiological investigations and relevant contact tracing on the confirmed cases are ongoing. Quarantine will be arranged for close contacts while medical surveillance will be arranged for other contacts. For the progress on the contact tracing of the cases, please see the annex.

Meanwhile, the CHP is following up on the contact tracing of two confirmed cases outside Hong Kong. The first case involves a 19-year-old female patient in Dongguan, Guangdong who took the flight CX320 (economy class cabin) by Cathay Pacific from Madrid, Spain to Hong Kong arriving on March 8.

The second case involves a 31-year-old female patient who was a passenger on board the Diamond Princess cruise and became a confirmed patient in Japan. She was discharged after treatment in Japan and returned from Tokyo to Hong Kong on the flight NH811 (economy class cabin) by All Nippon Airways on March 7. While she remained asymptomatic, her respiratory specimen collected during a consultation for her underlying illness at Queen Mary Hospital on March 9 was tested positive for COVID-19.

People who travelled on the same cabin of the two above-mentioned flights are urged to call the CHP hotline.

A spokesman for the CHP said, "The CHP reminded members of the public that as the transmission of the COVID-19 virus has been increasing around the world, they are advised to consider delaying all non-essential travel outside Hong Kong."

"Meanwhile, according to our epidemiological investigations, clusters are observed in the local community involving large meal gatherings and other gatherings. Members of the public are urged to go out less and reduce social activities

such as meal gatherings or other gatherings, and maintain an appropriate social distance with other people as far as possible."

The spokesman said, "The CHP strongly urges the public to maintain at all times strict personal and environmental hygiene, which is key to personal protection against infection and prevention of the spread of the disease in the community. On a personal level, members of the public should wear a surgical mask when having respiratory symptoms, taking public transport or staying in crowded places. They should also perform hand hygiene frequently, especially before touching the mouth, nose or eyes.

"As for household environmental hygiene, members of the public are advised to maintain drainage pipes properly, and regularly pour water into drain outlets (U-traps); cover all floor drain outlets when they are not in use; after using the toilet, they should put the toilet lid down before flushing to avoid spreading germs."

The CHP will report the cases to the World Health Organization, National Health Commission, Health Commission of Guangdong Province and the Hospital Authority.

The CHP has set up a hotline (2125 1122) for public enquiries. The hotline operates from 8am to midnight daily. As at 4pm today, a total of 30 947 calls were received.

Moreover, the Government has launched the website "COVID-19 Thematic Website" (www.coronavirus.gov.hk) for announcing the latest updates on various news on the COVID-19 infection and health advice to help the public understand the latest updates.

To prevent pneumonia and respiratory tract infection, members of the public should always maintain good personal and environmental hygiene. They are advised to:

- Wear a surgical mask when taking public transport or staying in crowded places. It is important to wear a mask properly, including hand hygiene before wearing and after removing a mask;
- Perform hand hygiene frequently, especially before touching the mouth, nose or eyes, after touching public installations such as handrails or door knobs, or when hands are contaminated by respiratory secretions after coughing or sneezing;
- Maintain drainage pipes properly and regularly (about once a week) pour about half a liter of water into each drain outlet (U-traps) to ensure environmental hygiene;
- Cover all floor drain outlets when they are not in use;
- After using the toilet, put the toilet lid down before flushing to avoid spreading germs;
- Wash hands with liquid soap and water, and rub for at least 20 seconds. Then rinse with water and dry with a disposable paper towel. If hand washing facilities are not available, or when hands are not visibly soiled, performing hand hygiene with 70 to 80 per cent alcohol-based handrub is an effective alternative;
- Cover your mouth and nose with tissue paper when sneezing or coughing. Dispose of soiled tissues into a lidded rubbish bin, then wash hands thoroughly; and
- When having respiratory symptoms, wear a surgical mask, refrain from work or attending class at school, avoid going to crowded places and seek medical advice promptly.

Members of the public are advised to consider delaying all non-essential travel outside Hong Kong. The public should take heed of the health advice below if it is unavoidable to travel outside Hong Kong:

- Do not travel to Hubei Province of the Mainland where there is widespread community transmission of the COVID-19 virus;
- Avoid unnecessary travel to Korea (especially Daegu and Gyeongsangbuk-do where the majority of cases were reported), Iran, Italy, Bourgogne-Franche-Comte and Grand Est regions in France, the North Rhine-Westphalia region in Germany, Hokkaido in Japan as well as the La Rioja, Madrid and Pais Vasco regions in Spain;
- When travelling to countries/areas with active community transmission of COVID-19 virus, the public should avoid close contact with persons with fever or respiratory symptoms. If it is unavoidable to come into contact with them, put on a surgical mask and continue to do so until 14 days after returning to Hong Kong;
- Avoid visiting hospitals. If it is necessary to visit a hospital, put on a surgical mask and observe strict personal and hand hygiene;
- Avoid touching animals (including game), poultry/birds or their droppings;
- Avoid visiting wet markets, live poultry markets or farms;
- Avoid making close contact with patients, especially those with symptoms of acute respiratory infections;
- Do not consume game meat and do not patronise food premises where game meat is served;
- Adhere to food safety and hygiene rules such as avoiding consuming raw or undercooked animal products, including milk, eggs and meat, or foods which may be contaminated by animal secretions, excretions (such as urine) or contaminated products, unless they have been properly cooked, washed or peeled;
- If feeling unwell when outside Hong Kong, especially if experiencing a fever or cough, wear a surgical mask, inform the hotel staff or tour escort and seek medical advice at once; and

- After returning to Hong Kong, consult a doctor promptly if experiencing a fever or other symptoms, take the initiative to inform the doctor of any recent travel history and any exposure to animals, and wear a surgical mask to help prevent spread of the disease.

..... 以下係中國語原文

卫生防护中心调查新增五宗 2019 冠状病毒病确诊个案

香港政府一站通 sc.isd.gov.hk 2020-03-10 23:19

卫生署卫生防护中心公布，截至今日（三月十日）晚上八时，中心正调查五宗新增 2019 冠状病毒病确诊个案，至今本港个案累计 121 宗（包括 120 宗确诊个案和一宗疑似个案）。

今日的确证个案中两宗与早前加拿大的一宗确诊个案有关，为其在香港的家居接触者。该加拿大确诊个案是本港第 105 宗、第 107 宗、第 110 宗、第 111 宗及第 115 宗个案五名病人的印度旅行团团友。

首宗个案涉及一名 52 岁女子（为第 117 宗个案），为加拿大确诊个案的女儿。病人过往健康良好，居于南区域多利道 550 号下碧瑶湾 28 座。另一宗个案涉及一名 48 岁女子（为第 118 宗个案），为第 117 宗个案同住的家佣，48 岁女病人有长期病患。昨日（三月九日）安排两人接受检疫时发现她们发烧，随即将两人送往玛丽医院接受治疗。该名家佣报称自三月四日出现咳嗽带痰和流鼻水。两人的呼吸道样本今日证实对 2019 冠状病毒病病毒呈阳性反应，现时情况稳定。两人最近均没有外游。

其余三宗个案涉及一个于二月二十七日至三月七日从香港到埃及的旅行团。其中一名病人为 59 岁男子（为第 119 宗个案），是食物环境卫生署人员。病人过往健康良好，居于大埔富亨邨亨泰楼。他于三月七日出现咳嗽，三月八日出现发烧并到雅丽氏何妙龄那打素医院急症室求医，三月九日向私家医生求诊。其深喉唾液样本今日证实对 2019 冠状病毒病病毒呈阳性反应，入住雅丽氏何妙龄那打素医院接受治疗，情况稳定。其妻子亦有同行，因出现病征已入住雅丽氏何妙龄那打素医院治疗，其儿子则没有出现病征，将被安排接受检疫。

另外两名病人为一对居于屯门兆禧苑安禧阁的夫妇。男病人 59 岁（为第 120 宗个案）有长期病患，于三月七日出现流鼻水，三月八日出现发烧。女病人同为 59 岁（为第 121 宗个案）过往健康良好，于三月七日出现发烧。二人于三月九日到屯门医院求医，二人的深喉唾液样本今日均证实对 2019 冠状病毒病病毒呈阳性反应，现时入住屯门医院接受治疗，情况稳定。

三名病人参加同一旅行团，并于三月六日乘坐土耳其航空 TK695（经济舱）由埃及开罗到土耳其伊斯坦布尔，再由伊斯坦布尔乘坐土耳其航空 TK70（经济舱）于三月七日抵港，曾乘坐该两班航班相同机舱的人士，请致电卫生防护中心热线。

卫生防护中心正继续跟进确诊个案的流行病学调查及接触者追踪的工作。中心会为密切接触者安排检疫，其他接触者则会进行医学监察。就接触者追踪的进度，请参阅附件。

此外，卫生防护中心正就两宗本港以外确诊个案进行接触者追踪的工作。第一宗个案涉及一名于广东东莞确诊的 19 岁女病人，她由西班牙马德里乘坐国泰航空 CX320（经济舱）于三月八日抵港。

第二宗个案涉及一名「钻石公主号」邮轮并于日本确诊的 31 岁女乘客。她于日本治愈出院后于三月七日乘坐全日空航空 NH811（经济舱）从东京回港。她没有出现病征，于三月九日到玛丽医院就其长期病患复诊时，抽取的呼吸道样本证实对 2019 冠状病毒病病毒呈阳性反应。

曾乘坐上述两班航班同一机舱的人士，请致电卫生防护中心热线。

卫生防护中心发言人表示：「中心提醒市民，鉴于全球各地 2019 冠状病毒病的疫情正在迅速蔓延，中心建议市民应考虑延迟所有非必要的外游计划。」

「此外，中心的流行病学调查显示，本地社区中出现群组个案，涉及一些多人的聚餐及聚会。中心提醒市民应减少外出及避免聚餐或聚会等社交活动，并尽量与他人保持适当的社交距离。」

发言人说：「中心强烈呼吁市民，时刻保持个人和环境卫生，对预防个人受感染和防止病毒在社区扩散至为关键。个人层面上，市民应在出现呼吸道感染病征、乘坐交通工具或在人多挤逼的地方逗留时佩戴外科口罩，并必须时刻保持双手清洁，尤其在触摸口、鼻或眼之前。」

「在家居环境卫生方面，市民应妥善保养排水渠管和定期把清水注入排水口（U 型隔气口）；所有地台排水口在不使用时应盖好；如厕时亦要注重卫生，先将厕板盖上才冲厕水，以免散播病菌。」

卫生防护中心会就上述个案通报世界卫生组织、国家卫生健康委员会、广东省卫生健康委员会和医院管理局。

卫生防护中心已设立热线 2125 1122，市民每日可由上午八时至午夜十二时致电热线查询。截至今日下午四时，热线共接获 30 947 个查询。

政府已推出「2019 冠状病毒病专题网站」（www.coronavirus.gov.hk）发布与疫情相关的各项最新消息及健康建议，以助市民掌握最新资讯。

要预防肺炎及呼吸道传染病，市民必须时刻保持良好的个人及环境卫生，包括：

- 在搭乘交通工具或在人多挤逼的地方逗留时应佩戴外科口罩。正确佩戴口罩十分重要，包括在佩戴口罩前及

脱下口罩后保持手部卫生；

- 经常保持双手清洁，尤其在触摸口、鼻或眼之前；触摸扶手或门把等公共设施后；或当手被呼吸道分泌物污染时，如咳嗽或打喷嚏后；
- 妥善保养排水渠管和定期（约每星期一次）把约半公升的清水注入每一排水口（U 型隔气口），以确保环境卫生；
- 所有地台排水口在不使用时应盖好；
- 如厕时亦要注重卫生，先将厕板盖上才冲厕水，以免散播病菌；
- 洗手时应以梘液和清水清洁双手，搓手最少 20 秒，用水过清并用抹手纸弄乾。如没有洗手设施，或双手没有明显污垢时，使用含 70%至 80%的酒精搓手液洁净双手亦为有效方法；
- 打喷嚏或咳嗽时应用纸巾掩盖口鼻，把用过的纸巾弃置于有盖垃圾箱内，然后彻底清洁双手；及
- 当出现呼吸道感染病征，应戴上外科口罩，不应上班或上学，避免前往人多挤迫的地方，及尽早向医生求诊。

中心建议市民应考虑延迟所有非必要的外游计划。如不可避免外游，市民应注意以下预防措施：

- 切勿前往出现 2019 冠状病毒病病毒广泛社区传播的内地湖北省；
- 如非必要不要前往韩国（特别是大部分个案报告的大邱及庆尚北道）、意大利、伊朗、法国布尔冈—法兰琪—康堤及大东部地区、德国北莱茵—威斯特法伦州地区、日本北海道，以及西班牙拉里奥哈、马德里及巴斯克地区；
- 前往出现 2019 冠状病毒病病毒活跃社区传播的国家 / 地区，应避免与发烧或有呼吸道病征的人士有密切接触。如果不可避免与他们接触，应戴上外科口罩，并继续佩戴直至回港后 14 天；
- 避免到访医院。如有必要到访医院，应佩戴外科口罩及时刻注重个人和手部卫生；
- 避免接触动物（包括野味）、禽鸟或其粪便；
- 避免到湿货街市、活家禽市场或农场；
- 避免近距离接触患者，特别是有急性呼吸道感染症状的患者；
- 切勿进食野味及切勿光顾有提供野味的食肆；
- 注意食物安全和卫生，避免进食或饮用生或未熟透的动物产品，包括奶类、蛋类和肉类，或食用可能被动物分泌物、排泄物（例如尿液）或产品污染的食物，除非已经煮熟、洗净或妥为去皮；
- 身处外地时，如身体不适，特别是有发烧或咳嗽，应戴上外科口罩，立即通知酒店职员或旅游领队，并尽快求诊；及
- 从外地回港后，若出现发烧或其他病征，应立即求诊，主动告诉医生最近曾到访的地方及有否接触动物，并佩戴外科口罩，以防传染他人。

20200310F COVID-19 CHP は 5 名の新増患者を調査(香港政府)